

築く KIZUKU

広報誌

7

No.661

2019 July



2019年度スローガン

継往開来

～礼を尽くし、笑顔溢れる未来を切り拓く～

JCI 
Junior Chamber International Mizusawa

公益社団法人 水沢青年会議所

北方四島交流事業

新聞で報道もされておりましたが、6月7日から9日まで、水沢青年会議所より千葉理事長と私の2名で北方領土の色丹島へと訪問してきました。

今回の訪問は、島を返せ!といった政治的なものではなく、現地のロシア人と交流を深めお互いに理解しあうこと、また元島民だけではなく多くの人に島を知ってもらうための訪問です。神戸学院大学の岡部教授を団長、「歌う漫画家」富澤きららさんを副団長として、大学生など40歳以下の若い団員を中心に63人で上陸しました。

島の第一印象としては、非常に美しい島でした。大部分が手つかずの自然のまま残っており、霧のかかった風景、雲間から日があつたっている風景、夕日に照らされた風景ととても美しく、こんなに魅力的な場所は本土には無いのではないかと思います。

しかし島内は古くなった建物や未舗装の道路がなく、なかには「21世紀の道路ではない。計画はあるが一向に進んでいない」と語る人もおりました。

よくニュースでも取り上げられますが、島内には日本人墓地があります。今回は斜古丹と稲茂尻の二カ所に墓参してまいりました。今回同行した元島民一世の得能さんから当時の様子や、この墓

地を守ってくれた一人のロシア人の話など、本土で調べただけでは決してわからない、その無念さや愛情が痛いほど感じられました。

また今回は交流を深めるということで「第4回アニメ・オタク文化青年サミット in 色丹」が開催されました。コスプレ大会やアニソンカラオケ大会などを行い、また私たちは、日本にしかないという「ガシャポン」の体験コーナーをやらせていただきました。子供たち以上に大人に人気があり、多くの人たちがハンドルを回して熱中しておりました。

長いようで短い訪問でしたが、現地の人と交流したことでわかったことは、おそらく完全に返還されるのは厳しいだろうということです。すでに島では生活基盤が出来上がっており、世代を重ねているため、無理に返還しても我々と同じく「奪われた」と多くの恨みを生むだけだと思います。国後など他の島はわかりませんが、少なくとも色丹島の島民は非常に友好的です。なかには「このまま住み続けられるなら日本領でもいい」という方もいます。このまま交流を続け、この問題が平和的に解決できるよう、今回訪問した一員として積極的に活動し伝えていかなければならないと考えております。

事務局長 相津恒輔



● 北方領土市長表敬訪問

千葉恭義理事長と相津恒輔事務局長は「北方四島交流後継者訪問事業」の一環で北方領土を訪問するにあたり、出発前の6月5日に小沢昌記市長を表敬訪問されました。

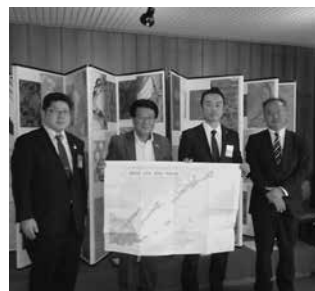
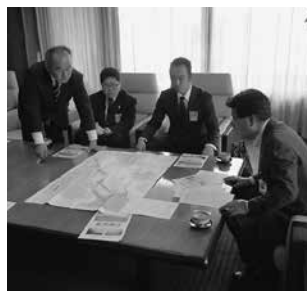
お二人は北方領土問題対策協会岩手県推進委員の菅原勝一さんから北方四島の現状や本事業の内容などの説明を受けながら、小沢市長と意見交換をされていました。

千葉理事長は「北方領土問題は身近な問題ではなく他人事のような雰囲気があると思うが、我が国の領土問題としてしっかりと当事者意識を持って考えることが大事。現地を訪問し現状を知ってより一層見識を深めていきたい」と意気込みを語り、小沢市長からは「日本固有の領土であるのにロシアに実効支配されていて自由に行き来できない、近くて遠い場所。複雑な問題があると思うが百聞は一見にしかず。身体に気を付けてしっかり

現地を視察してきてほしい。」と激励をいただきました。

“近くて遠い島“である北方領土に岩手県の代表として訪問されるお二人は期待と不安が入り混じった様子でした。訪問事業を終えたお二人から北方領土の現状や現地住民との交流の様子など、どんな話を聞けるのかとても楽しみです。

総務広報委員会委員 菅原亮太



第62回

奥州インディアン旗野球大会

— 第1回インディアン旗代表者会議 —

6月24日、第一回インディアン旗代表者会議を開かせていただきました。

今期のインディアン旗は昨年までと違い、一日目はグループリーグ戦形式で行い二日目にはワイルドカードを含めた8チームによるトーナメント方式で試合の進行をしていくことや、始球式において160キロを体感できる、などの具体的な説明を行いました。

今回集まっていたいただいた代表者の方々はとても積極的に質問や意見を出してくれましたし、また、私たちにとっても新たな気づきがあったり、今までの活動に間違いはないと自信になるような、とても有意義な会議になりました。

今後は第二回の代表者会議に向けて、そしてインディアン旗の成功に向けて委員会一丸となって取り組んでいき、子供たちや関わっていただいた方々が満足できるような、そんな大会にするべく頑張っていきたいと思えます。

また、そのためには皆さんのご協力も必要になりますので、是非よろしくお願ひします。

ひとづくり委員会 委員長 千田 長



Flower Road フラワーロード



6月9日（日）朝6時より、水沢フラワーロードの花苗植えの作業を行ってきました。雨のため、8日（土）から延期となつての作業となりましたが、早朝から多くの地域の方々、団体の方々が参加していました。作業される方々の行動や手つきは慣れたもので、長い間、毎年の恒例行事として、みなさんの手で作り、引き継がれてきた作業、場所なんだなと感じさせられました。

早朝からの作業ということもあり、空気が澄み、とてもすがすがしい気分の中での作業となりました。水沢フラワーロードを通る際は、花が綺麗に咲いているなど思えるくらいの心に余裕を持った運転を心がけていただき、奥州市の素敵な伝統が根付き、花咲かせている場所だということも感じていただけたらいいなと思ひました。今後も奥州市の環境美化活動に携わっていきたいと思ひます。

財政コンプラ特別室兼ひとづくり委員会 委員 佐藤 修 一



Next event Schedule

〈今後のスケジュール〉

7月〈July〉

- 6日(土)~7日(日) アカデミー第三講座
- 15日(日) まちづくり委員会事業 カヌー体験会 ~この夏は新しいスポーツに挑戦!~
- 20日(土)~21日(日) サマーコンファレンス2019
- 27日(土) 若手ブロック協議会 会員会議所会議 大船渡

8月〈August〉

- 10日(土)~11日(日) サマチャレ奥州2019
- 17日(土) 8月例会並びに定時総会
- 23日(金)~26日(月) 永和国際青年商會45周年記念式典並びに公式訪問

編集後記

暑さいよいよ厳しき折り、皆様いかにお過ごしでしょうか？

私は猛暑に負けじと、冷えたビールを飲みながら、涼を得る日々です。

夏と言えば、海や山など色々外出が多くなる季節だと思います。

また、この時期は露出の多い恰好で外に出歩かかと思えます。

夏の暑さに負けずに、夏をエンジョイしていただく為にも、冷えたビールを飲みながら、涼を得る日々を送っていくにも、日頃の体の管理、健康を意識して精進していきたいと思っております。

総務広報委員会 委員

松川 知裕

会員募集

水沢青年会議所の仲間に入りませんか？

地域の青年のみなさん！他業種の、それも同年代の人々と幅広く勉強し、一緒に行動し、そして友情の輪を広げてみませんか？そうした事の出来る団体が、青年会議所です。40歳までをどう過ごすか、共に考え活動していきましょう！

修練・奉仕・友情を信条とし、よりよい社会づくりを目指す。

青年会議所は大きな可能性に向けての自己投資です

表紙写真 インディアン旗野球大会 第1回代表者会議

みなさまのご意見・ご感想をお待ちしております！

〒023-0818 奥州市水沢東町4 (水沢商工会館3F) TEL 0197-24-2641 FAX 0197-22-6421
ホームページ http://www.229jc.jp E-mail : room@229jc.jp